

お西さん

2003
7-8



「光を求めて」

今年もお盆の季節を迎えました。

このお盆の由来は、お釈迦様のお弟子目蓮尊者の亡きお母さんが、餓鬼道という世界で苦しまれていた姿を知らされ、お釈迦様の教えに従って、お母さんを救ったというものです。

また、お盆という言葉は、「盂蘭盆」といって、インドの古い言葉を意識したもので、その意味は、逆さにつるされたような最大の苦しみをあらわしています。つまり、大変な苦しみを受けている人を救うために行われた仏事が、お盆の始まりです。

浄土真宗では、お盆のことを「歡喜会」と云います。それは、どのような苦しみや悲しみも、阿弥陀さまの働きによって救われ、この上ない喜びに転じるこ

とができるからです。
お盆は、お寺やお仏壇の前で手を合わせ、墓前にお参りして亡き人を偲び、そして阿弥陀さまのお慈悲に遇わせて頂いたご縁を喜ぶ、その喜びの姿が盆踊りとなって、多くの人が参加する年中行事となっています。

輪番 吉川孝臣

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

7月10日(木)～16日(水)はお盆参り、8月8日(金)～9日(土)は盆踊りのため、この期日の月忌参りはお休みさせていただきます。

生きる喜びを親鸞聖人に学ぶ

親鸞大学 修了にあたり



函館親鸞大学講師
宣法寺
渡邊 脊龍

慈光照護のもと、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

母と私の毎朝の会話「勝よ、一つお願いがある」なんだ、言ってみろ」「これこれ、これをしてくれよ」と両手を合せて念佛せよと言うのである。あーあ、念佛のことか。ああ解った」と言って面倒くさそうに「ナンマンダブ、ナンマンダブ……」と称える。「これでいいだろう」と言う母は満足そうに「うん、それで良い、それでよい、ありがとう」と言ってお内佛に向い朝のおつとめ「正信偈」をとなえるのであった。これは、駒沢小児科医長の駒沢勝さんの「医と私と親鸞」という本に書いてある。熱心な浄土真宗の信者であった母親（イチエ）のお育てによって、今自分もお念仏を喜ぶ身になったことをのべておられ

るのである。

浄土真宗の門徒は、この「正信偈」をおつとめするのが日課ですが、その意味を理解しておられるかというところどうもである。この四年間、別院で十六日親鸞聖人の御命日に親鸞大学で講座を開き、「正信偈」を共に学ばせて頂き味うことが出来ましたが、毎回聴講された方々にどう理解して頂かれたことでしょうか？

歌人でお念仏者であった吉野秀雄さんの詠に

在りし日の母が勤めの正信偈

わが耳底に一生ひびかむ

ふるさとに母が唱ふる念佛の

耳の底よりわれをいだなふ

とありますが、真宗の御門徒の氣持をよまれた詠だと私は味わうこととであります。

日本中で毎日一番読まれているお経は「阿弥陀経」と「般若心経」だと思います。そして浄土真宗では毎朝「お正信偈」のおつとめがなされておられることですが、これが次の世代まで受けつがれていくことを念じております。 合 掌

「正信偈」の おはなし(1)

「正信偈」は、親鸞聖人があらわされたお書物「教行信証」の中の正式には「顕浄土真実教行証文類」といいますが、その第二巻「行巻」の末尾にお書きになっている六十行百二十句の偈文が「正信偈」です。

この「正信偈」は、本願寺の八代目の宗主蓮如上人が、「教行信証」から抽出され、さらに「和讃」を加えて私たち真宗門徒のおつとめとされたものです。

この「正信偈」の内容は、自らが「無量寿如来に帰依し、不可思議光に南無します」と阿弥陀さ

まに全てをまかせていることを告白され、続いてふたつに大別されています。

前半は、阿弥陀さまのお徳とご苦勞を讃えられていて、「依経段」とよばれています。後半は、「依積段」とよばれインド・中国・日本の七人の高僧のおすすすめによって、真実のみ教えに会えた喜びを述べられています。

聖人が「教行信証」の総序のご文に、「あひがたくしていまあふことをえたり、ききがたくしてすでにきくことをえたり」と、お述べになつていますように、真実の教えに会えたこととお喜びになり、如来のお慈悲の深さと恩徳を知られ、よろこび讃嘆されたものです。

高札に 熊の漫画絵 山笑ふ

東川町 山口昭平氏

送り火の 消ゆるまで佇ち 父と母

末広町 木村栄子さん

皆さんも俳句、短歌、漫画などお寄せ下さい。採用された方には、記念品を贈呈致します。

あて先 函館市東川町十二の十二 本願寺函館別院内 お西さん担当係迄



ご門徒さんから頂いた作品を、紹介させて頂くコーナーです。

組内そないを行く

第一回

長万部の乗蓮寺さんに行ってみました。

乗蓮寺さんは明治四十年に説教所として始まり、昭和二十四年に乗蓮寺として寺号公称許可され現在に至ったそうです。

現住職の武澤信行師は報恩講やお盆で別院に協力いただいていますので、ご存知の方も多いと思います。師は中学2年の時亡くなられたお父様、つなげて下さったお母様の後を継ぎ、二十三歳の時に住職になられたそうです。若くして住職となられご苦労



今回から始めました、不定期連載「組内そないを行く」は、「函館組ほだき」渡島・松山地区のお寺を紹介させて頂くコーナーです。



されたそうですが「先輩僧侶の方々に厳しくも温かくお育ていただき、現在の自分がある。」とお話くださいました。

四十四歳となられた今は、高校二年生から五歳までの五人のお子様にかこまれ、優しい奥様とお母様と共にお寺をきりもりされておられています。長万部に行くことがありますらぜひ参拝されてはいかがでしょうか？

石黒

作る・創る

● 亀田中野町の道念さん宅には、かわいくて面白い置物がたくさんあります。奥様の節子さんが八年前から美原にある「創作紙粘土」の先生の教室に通われながら、仕事の合間に作り続けてこられたそうです。

空き瓶や紙筒を中に入れた紙粘土で形をつくり、他の材料なども使って飾り付けをしたり色を塗ったりして完成させていくそうです。その作品は、まるでお店で売られているような見事な出来栄でありながら、どこのお店にも売られていないほど個性的なものばかりです。

手軽に加工できる紙粘土、捨てられるはずだった廃品、ちよつとした材料。それらがアイデアによって、



世界でたった一つの価値をもつものへと「創り」上げられていくのです。様々のものを作られるご主人にもお話を伺いながら、ものを創り作ることにすばらしさとともに、あらゆるものには無限の可能性があることを教えていただきました。「続けてこられたのは、楽しいから。」教室に通う楽しさ、考える楽しさ、出来上がる楽しさ。そうしてお話を聞かせていただきながら、私のこれからの楽しみも創っていただきました。

平田



御門徒さん

大福餅



この度、紹介させて頂く御門徒さんは、昭和三十年から五稜郭公園電停前でご商売をなさっておられる、「餅の北屋」さんです。

五稜郭に丸井今井のデパートが建つられるまで五十年の間、現在の場所でお餅を造つてこられました。只今は、二代目のご主人彦四郎さんと三代目の文彦さんと奥さん、ご家族がお店をされています。

この五十年を振り返りいろいろな出来事のおかげで、ご主人は、「たいやきがプームのとき材料の小豆がなかなか手に入らなくて大変でした。」と、懐かしい思い出話を教えてくださいました。

今お店の一番人気は、なんとと言っても大福！その他

にも、ご自分で山に出かけられ採って「られた」ヨモギで造られる草餅や、べこ餅の笹もすべて自然の恵みを戴いた手造りの味で好評です。

最近では、お餅を家で揚ぐことはほとんどなくなりました。ご法事でもお餅ではなく、お団子を積んでおられることも少なくありません。でも皆さんご存知でしたか？お西のお寺は、まずお佛飯、つきにお餅です。それから菓子、果物の順にお供えします。あくまでお団子は、お餅の略式なのです。毎日は無理でしょうけれど、年忌法要や御祥月命日ときは是非、お供え餅を上げて下さい。そして、菓子とは穀物を原料に造られたものが中心となります。まさに「餅の北屋」さんの出番なのです！

仏さまのお供物をおねがいし、そして大人気の大福を味わってみられてはいかがでしょうか？

吉村

・函館市本町25番12号
・電話 / 522局2212
・定休日 / 日曜日
・営業時間 / 朝8時30分〜夜7時30分



降誕会

ごう
たん
え

◆よろこびの降誕会

五月十八日は浄土真宗では報恩講に次ぐ大事な法要、親鸞聖人の誕生を祝う「降誕会」でした。

午前中は龍谷幼稚園の園児八十名が、お父さん・お母さんと一緒に本堂でお祝いの参拝をしました。その後、小さなお子さんの初めての本堂へのお参りである初参式（しょんしき）を行い、誕生と成長をみんなでお祝いしました。

午後一時から吉川輪番を導師に、近隣のお寺さんも交えて雅楽を奏でる中、法要が始まりました。元別院職員であった千葉照暎さんを法話のご講師として新得町からお呼びしたからでしょうか、今年は参拝の方々も例年になく多くおいで頂いたようです。確かに「初めてお参りました。よろこびの広場も楽しかったです。」という声も聞いております。

さて、その多くの参加があった「よろこびの広場」では、別院婦人会の会員さんが用意してくださった料理



をいただきながら、おしゃべりをしての懇親会。その他演歌あり、踊りあり、中でも小学二年生の子供さんの踊りの時、「何があったのか」という位、会場が静まりかえりました。皆さん見入っておられたのですね。最後の盛り上がりはいつものようにビンゴゲーム、思いの景品が当たりましたでしょうか。

寺の行事というのは固いイメージを持たれていますが、そのイメージを壊し、盛り上げてくださるのが参拝参加の皆さんです。どうぞこのような法要や行事の時、どんどん来て頂きたく思います。

脇坂



教えて! お寺さん

Q 西別院では 祈祷・厄払いは 行わないのですか?

A 世の中には、宗教と呼ばれるものが数多くあります。人の願いや欲望をかなえてくれるものが宗教だと考えている人が多いのではないのでしょうか。

私たちの周りでは、家内安全・合格祈願・交通安全を願ったり、又厄払いをしたりして、今いいことが起こることを期待している行為が多々行われています。本当にそれが宗教でしょうか。人の望み・願いといえども聞こえもいいますが、必ず心の奥には欲望・我というものがあります。欲望とは、さとりをさまたげるものであり、それが煩惱であります。煩惱からはなれ、真の人生にめざめることを教えているのが仏教です。

この欲望の満ちあふれている私の姿を知らされた時、こんな私でも救ってくださる仏さまがおられる、その信心をよろこぶ教えが浄土真宗であります。おみくじやお札、先にあげた行為を行わないのが浄土真宗のお寺なのです。

覚信尼会だより

去る、六月十四日(土)に覚信尼会研修旅行といたしまして洞爺湖へ行ってきました。

函館を出発しまして、洞爺へ着き、まず有珠山(西山火口)噴火口へ行きまいた。噴火口散策道を歩いていきますと、噴火当時の自然の驚異を実感できるほどのものでした。噴火により道路のいたる所がもり上がり噴火前の風景とはまったく違う風景になっておりました。今でも噴火



活動は続いているようである所から蒸気があがり、硫黄のにおいが息苦しい感じのする所でした。

有珠山を見学し、次にホテルへと移動し、昼食を頂きました。その後はおもしろい、洞爺湖遊覧船に乗りたりと楽しい一時を過ごさせて頂きました。

ホテルを後にして、研修の目的地であります、皇恩寺さんへ参拝させていただきました。そこで副住職



の増山顕祐氏にお話を頂きました。増山氏はみなさまもよくご存知とは思いますが、毎年お盆にお手伝いに来て頂いたり、秋季彼岸会でのご法話を頂いたりと何かとお世話になっております。その増山氏から有珠山噴火当時の様子や、被害箇所などのお話し頂き、あらためて自然の驚異を感じられるお話でした。

今回の研修旅行は御輪番をはじめ総勢十五名の参加となり、とても有意義な一日を過ごさせて頂きました。

西光寺

♪ 共に食べ、歌って踊るみんなの広場 ♪

お西
さんの

盆ダンス



とき

8月9日(土)

午後6時頃

ところ

西別院境内

※雨天決行。雨天時は文化会館にて。

盆踊り大会を龍谷幼稚園と合同で開催します。ご家族揃ってご参加ください。お盆提灯をご進納いただいている皆様には昨年の通り、献灯料を1個1,000円でお願いたします。また、新たに提灯をご進納下さる方は、1個3,000円ですので、是非ともお上げ下さい。

お盆参り

◆七月十日(木)～十六日(水)

※本院納骨堂及び、台町墓地は十日より十八日までお勤めいたします。婦人会の方々が十三日(日)に仏花・ローソク・線香・飲物等のご用意をいたします。どうぞ御利用下さい。

初盆法要

とき／八月三日(日) 午後三時三十分より

場所／本堂にて

講師／函館組

西教寺 吉村 善充 師

平成十四年八月より、今年お盆までの物故者の追悼法要です。

盂蘭盆会

とき／八月十四日(木)

午後三時三十分より

場所／本堂にて

講師／八月

常例布教 講師(未定)

西別院門信徒の物故者の総追悼法要です。

お供物についてお願いのこと

墓所においては、カラス・キツネ等のイタズラが激しく、墓所の美観を損ね、納骨堂においても生菓子、供花の腐乱が著しい故、お供え物は説経(お参り)を終えられましたら、仏様からのおさがるの品々ですので、必ずその場でお食べになるか、持ち帰られますようお願いいたします。

乙女のつばやき

私事ではありますが、最近、結婚致しました。その報告を友人知人に行う為、葉書で案内した所、住所番地を誤記してしまい、誤配されたり、郵便局でおこられたり。こんなおつちよこちよいではありますが、これからもよろしくお願い致します。

北山(旧姓小池)

はなまつい

さる、五月十一日に函館市仏教会主催の花まつり奉賛大会が五稜郭公園で開催されました。

昨年度は雨天により稚児行列はできませんでしたが、好天に恵まれた当日は各宗派所属幼稚園の園児がこやかに集まってきました。

公園内では、園児の代表灌佛(かんぶつ)や仏教会会長の挨拶、各園の園児によるお遊戯など、荘厳な雰囲気の中にもお釈迦様の誕生を祝う花まつりの法要が営まれました。

引き続き、五稜郭の商店街を高龍寺の梁川法務所までパレードです。横断幕や仏教会旗の先導のもと、御法中(お寺さん)に続き、ダイヤモンドキッズによ



るパトンの演技、吹奏楽部の演奏、園児の稚児行列、二頭の白象はポーンスカウトや仏教子供会の皆さんにひかれ本堂に賑やかにパレードが行われました。

別院からも龍谷幼稚園の園児や、別院のスカウトなど多くの子どもたちが参加し、心に残る一時を過ごすことができました。

高倉

ようこそ常例布教へ

◆七月は、お盆のためお休みです。

◆八月十二日(火)～十六日(土)

午後一時三十分より

未定

お悔やみ申し上げます

永代経懇志ありがとうございます

第五回 北海道教区

真宗青年の集い

二年に一度、北海道の仏教青年が一同に会して開催される「真宗青年の集い」が、今回は函館で八月二日(土)～三日(日)にかけて開催されることになりました。御講師に社会福祉士の三浦稔氏をお招きして「思いやり」について考えてみたいと思っております。

懇親会で北海道各地の仏教青年と交流し、その後は函館最大のイベント「港まつり」の会場へ行って、みんなで一緒に踊れたら...と思っております。

今回の集いを通して、若い方々に仏教の教えに触れていくきっかけになれば...と思っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日

平成15年

8月2日(土)～3日(日)

開催場所

本願寺函館別院・湯の浜ホテル

参加費

お1人様 5,000円

講師・テーマ

三浦 稔氏

(社会福祉士・函館厚生院永楽荘荘長)

『思いやりのこころ～常識・非常識～』

参加ご希望の方は、別院迄お問い合わせ下さい。

担当/石黒・西村

表紙の

写真



フリーカメラマン
本堂 敬子さん

「ひかりを求めて」

去年の夏、親戚の者に連れて行ってもらった札幌“ざとらんど”でひまわりの大群を発見しました。

北竜町はもつとすこいのでしょうか、一度にこれだけのひまわりを見たことのなかった私は大興奮してシャッターを切りました。

ひまわり畑の中にしばし佇み、心地よいエネルギーをもらいました。紅い花もたくさん咲いていて、彩り豊かな夏の午後を満喫しました。

テレホン法話順番表

- 6月29日(日)～ 7月 5日(土)… 脇 坂(副)
- 7月 6日(日)～ 7月12日(土)… 吉 村(参)
- 7月13日(日)～ 7月19日(土)… 高 倉(参)
- 7月20日(日)～ 7月26日(土)… 石 黒(参)
- 7月27日(日)～ 8月 2日(土)… 平 田(承)
- 8月 3日(日)～ 8月 9日(土)… 西 村(承)
- 8月10日(日)～ 8月16日(土)… 岸 井(承)
- 8月17日(日)～ 8月23日(土)… 常例布教使
- 8月24日(日)～ 8月30日(土)… 西光寺(承)
- 8月31日(日)～ 9月 6日(土)… 吉 川(輪)

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

☎ 0138 27局 2424 番

編集後記

八月には御案内通り青年会の全道大会が函館であります。まだまだ青年のほくも担当として、また、会員として参加させていただきます。若い活力をしっかりといただきたいと思っております。

石黒

▼昨年の盆参りのことです。台町のお墓でお参りしていると日射病にかかりました。今年は何か対策を考えないと...

岸井

学校法人

龍谷幼稚園だより

★降誕会のおみやげ



参拝も上手にできた
龍谷幼稚園の子どもたちに、
園長先生から紅白餅を頂きました。
M先生「ほら、M君。園長先生がお餅をくれるって。」
M君「僕、甘いのが嫌いだもん!」
M先生「じゃあ、おばあちゃんのおみやげにきなさい。」
M君「おばあちゃん、すっぱい物が好きなんだよね〜。」



こどもの つぶやき



★登園バス内にて

バスの外で手を振っているおじいちゃん。
バスのおじさん「ほら、R君。おじいちゃんが手を振ってるよ!」
R君「あっ!ババのおやじなんだよ〜。」



★外あそびにて

松の葉を集め、くじびきを作ったM君。
M君「先生!いいところに
連れてってあげるからひいて〜」
M先生「うん。これ〜」
M君「青森だよ〜。あたり〜」
他にも、熊本・鹿児島・沖縄・ハワイと続き…
M先生「先生、もう最後にしようっと」
M君「いいよ〜」
M先生「き〜めた」
M君「龍谷幼稚園のあたり〜」
M先生「……(毎日来てるよ〜)」

預かり保育 ご案内



- お仕事をいっているお母さんのために。
- 用事でしばらくみて欲しい人のために。
- 保育園の保育がすんだあと夕方6時30分までお預かりします。

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日/夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい。

平成
15年度

園児募集

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を伝える宗教教育、
それが ^{りゅうこくようちえん} 龍谷幼稚園 です。

願書受付中

龍谷幼稚園 ☎23-0274